

大阪教育維新を市町村からはじめる会「元幹部が激白 藤吉雅春



「も」と選挙民にわかりやすいものを「テレビ」とは正反対の発言に会のメンバーは落胆。いつの間にか維新の会の名前もバクられた

橋下教育改革は選挙目当てだけ!

この記事だけは読んでください

小川法相7300万円弁護士報酬「違法請求疑惑」

大臣失格 143

真紀子がボツリやつぱりババには無理だった

史上最底の防衛相! 「お八カ政治家」田中直紀という生き方 145

中島知子さまの「私」はこうして、靈感マシと手を切った

岩井志麻子 38

礼儀知らずのAKB三指指して出直してきな

浅香光代 39

なでしこジャパン「テレビCMでハシャいでいる」と

宇津木妙子 41

蓮舫元大臣「自分が特別だと思っているのはあなただけ」

旭堂花鱗 41

松嶋菜々子「家政婦のミタ」

グロテスクすぎる日本人 金美輪 42

「プリック」田中みな美「ニューズもフリーも目指すな」

山田美保子 43

厚化粧とオパイで小沢一郎を籠絡した谷亮子

石川結貴 44

近藤麻理恵「人生がときめくお片づけブーム」

にももの申すさまと未明 45

「バナンニック」7800億円、シャープ2900億円

10社を直撃取材 大震災、タイ洪水だけでは済まない日本の危機 54

「日本企業」赤字修正ラッシュの悲鳴と怒号

占い師はなぜあなたのすべてを見抜くのか 大分2歳娘を林に捨てた 「悲劇の母親」と新興宗教 27

「ソニートップ」交代は、実質解任だった!

立石泰則 150

「給食の残り」を持ち帰らなくなった愛子さま

「雅子さまお付き添いがなくなった」新しい日常 148

「球春到来!」プロ野球キャンプ「体当たり実況中継」

「400億円購買要求」東大名誉教授が古巣「地震」を徹底批判 30

「東大地震研平田教授の「正体」

M7級4年以内 70%の旗振り役 30

「AKB」高橋みなみ母が「淫行容疑」で逮捕された!

相手は16歳の少年だった 仰天スクープ 28



相手は16歳の少年だった

夜ふけのなわとび	林真理子	56
本音を申せば	小林信彦	58
悩むが花	伊集院静	60
そこからですか!?	池上 彰	60
風まかせ赤マント	椎名 誠	76
さすらいの女王	中村うさぎ	99
ツチャの口車	土屋賢二	73
いまんにつた?	宮藤官九郎	65
そのノブは心の扉	劇団ひとり	68
バラレクインバドクス	福岡伸一	63
先崎 学	109	
近田春夫	67	
柳家高太郎	86	
町山智浩	111	
平松洋子	75	
有川 浩	80	
万城目学	104	
稲盛和夫	132	
AIエースホスト	100	
流燈記!	三浦哲郎	123
ステアキ!	Mシャブ郎	123
マイセットワークス「アキ」	沢村 凜	123
私の読書日記	岸本達也	123
文庫本を狙え!	坪内祐三	123
ミステリーレビュー	千住晶之	123
活字まわり	いかわじゅん	123
長島有里枝	123	
文庫と新書	123	
病院情報「みつしちか」	太田朝梨、石井昌福	137
病院情報「アイル2012」	賢理リハビリ	137
ぶらりわが街 大人の散歩	「横丁編」	115
瀬尾幸子	115	
テレビ健康診断	青木るえか	117
言葉尻とらえ隊	能町みね子	117
シマウタと「新書」DVD	多ルマユエ	117
クロスアップ	辛酸なめ子	117
ヨコモト通信	117	
ビックアップ「COO」温故知新	中嶋常幸	112
日々はゴルフ好日録	渡辺敏史	112
カーなへ	栗海林さん	112
タンマ君	池田院子	112
人生モグラたたき	112	
てこするハズル! 95	112	
伊藤理佐のわんこの怒	読者よう、表紙はこうと「和田誠」	158

AD=阿形竜平+時枝誠一 D=森本真実+菊池 崇+平井さくら+井上貴裕



世界の銘品、諏訪田爪切りクラシック

どんな爪でもサクッと切れて後のヤスリがけも要らない「諏訪田爪切りクラシック」。50工程にも及ぶ緻密な技法で一丁一丁手作り仕上げ。材質には特殊鋼を使用し巻き爪、厚く硬い爪も楽に切れます。医療現場でも採用される匠の品です。

●材質/本体:ステンレス刃物鋼●大きさ/全長12cm●重さ/85g●色/シルバー●付属品/メタルケース ●日本製(諏訪田製作所)

お申込みは今すぐどうぞ!

03-5620-9444 (電話受付/午前9時~午後9時・年中無休)

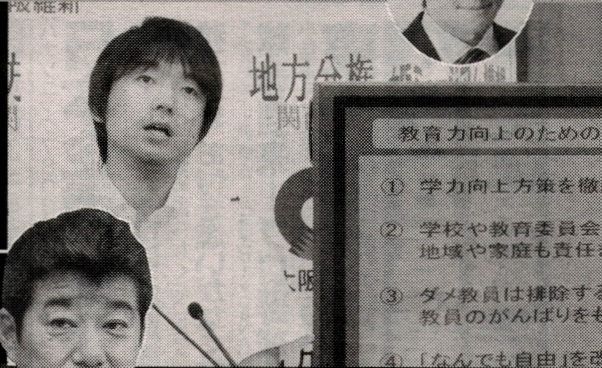
03-5621-4856 (24時間受付) 有限会社 さきかけ B係 〒135-0031 東京都江東区佐賀1-11-11~4F



元「激白」幹部が始める会から



改革は 当てだ!



ノンフィクションライター
藤吉雅春

「もっと選挙民にわかりやすいものを」テレビとは正反対の発言に 会のメンバーは落胆。いつの間にか「維新の会」の名前もパクられた

昨年の大阪W選挙は大勝利

松井一郎府知事

4年前、「教育非常事態宣言」をした橋下氏

神谷宗幣氏（円内）

橋下徹大阪市長率いる「大阪維新の会」の目玉、教育改革について議論が行われた一月の「大阪府市統合本部会議」でのことだ。堂々巡りの議論の中で、「ちょっと言わせて下さい」と、意を決したかのよう
に手を挙げたのは、小河勝氏だった。「小河式プリント」で知られる彼は、「百ます計算」の陰山英男氏とともに、橋下氏に請われて大阪府教育委員に任命された教育者である。「全然わかっていらっしやらないんじゃないですか」六十七歳の小河氏の言葉は、橋下氏や松井一郎知事、顧問の堺屋太一氏に向けられていた。維新の会が主張する「府立高校の学区撤廃」について、小河氏はこう言ったのだ。
「来年四月からスタートするとと言っても、今年四月に中学三年になる子たちをその路線で進路指導しなければならぬんですよ。という事は、今の時点で新しい制度ができあがっていない

なければならない。二、三月には来年度の進路指導や教務主任などの人事構成も決めなければならぬ。でも、この話自体、まだ是非も含め、論議も何もできていないじゃないですか」それでも再び不毛なまでに「なぜできないのか」「そんな事務的なこと、すぐできるはず」と、繰り返し返される。学区撤廃となれば、高校の評価基準を始め、仕組みから変えなければならぬ。なぜ慌てて制度を先に変えるのか、混乱するのは確実だというのだ。

全国的に注目される橋下氏の教育改革だが、そこには二つの謎がある。ひとつは、非常に急いでいる点。次に、弊害が報告されているイギリスのサッチャーによる教育改革を行おうとしている点だ。
後述するが、大胆な競争主義を導入したサッチャーの教育改革は、のちのブレア政権によって修正されている。ドロップアウトする子供を大量に生みかたない改革であり、無気力で孤立した若者が増えればどうなるか。

テレビを見て橋下氏に手紙を

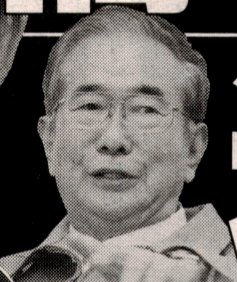
維新の会で教育改革案を練った市議は、「(教育の)格差を生んでもよい」と新聞で語っている。その市議は取材に応じてもらえなかった。そこで見つけたのが、「大阪教育維新を市町村からはじめる会」なる組織である。発足の会長は、橋下徹知事当時。橋下氏の理念を聞くべ

く、事務局長を務めた神谷宗幣・吹田市市議を訪ねた。ところが――。神谷氏の話は聞くうちに、私は目点になるのである。
「〇八年、橋下知事がテレビで『大阪の教育を変える』とおっしゃるのを見て、僕は知事に手紙を書いたんです。教育は一人を変えよう

「クソ教育委員会」などの過激な発言で教育改革を主張し続ける橋下徹大阪市長。なぜ橋下氏は急ぐのか。三年前、橋下氏と教育維新

「大阪教育維新を市町村

橋下教育 選挙目



橋下シンパの読者も
この記事だけは
読んでください

一体、何をやりたいのか？

末、彼は市の職員からこん

石原都知事との連携は？

と書かす電話がありました」

を語り合った人物は長い付き合いを経て橋下氏の本音を知ることになった。子供たちの教育が選挙のために利用されていたのだ――。

な依頼を受けたのだ。

「学校の卒業式で、日の丸、君が代をやるよう、議会で言ってくれないか。言ってくれる市議がいらないだよ」

当時、吹田市議会は共産党が第一党で、労組系の民主連合や公明党系が多数を占めていた。快諾した神谷氏が、議会で火だるまになってしまふのだ。

「僕についたレッテルが、

親学はよそでやっつけて下さい

「知事は発信力があります。

でも、一人で言い続けても動かない。現場を知る市議とチームを作りましょう」

手紙を送り、知事室に呼ばれた神谷氏がそう語ると、橋下氏は膝を打った。

「面白い。何人くらい集められますか」

こうして〇九年一月、三十人ほどを集めた第一回会合が、梅田のビルで開かれた。参加した市議の一人が振り返る。

「知事が来る前に、みんな

「無所属一人会派の吹田の右翼」。以来、何を質問しても、右翼と呼ばれて取り合ってもらえない。議会で孤立し、正直、もう市議を辞めようと思いました」

しかし、日本の教育を変えたいという熱い思いをもつ他県の若い市議らを、彼は仲間にしていく。そこへ颯爽と大阪に登場したのが、橋下知事だった。

で『会の名前、どうする？』と話し合いました。『改革を目指すんだから、やっぱり維新やろ』ということ

で、大阪教育維新を市町村からはじめる会」と決定しました」

ちなみに、この時点で「大阪維新の会」はまだ結成されていません。会合に現れた橋下知事はこう提案した。「府下全域の共通のテーマを見つけて、みんなで話しかって改革しませんか」

が、日教組のいう「人権教育」への意見である。

「人権、人権というが、具体的に人として大切なこととか、どう生きていくとか、家族のあり方といった、徳育を推進しよう」

ところが、橋下知事が反応しない。議事録用にビデオ撮影がされる中、知事はこう言うのだ。

「皆さんの意見はわかるが、徳育はイデオロギーが絡むからやりたくないんです」

なんか、テレビでの挑発的な発言と違うなあと、空気が戸惑い始めた。

「議事進行役の神谷君が、教育学者・高橋史朗氏の推進する『親学』をやりたい」と言い、家庭教育を充実させるための行政の補助や、地域コミュニティを形成させて、多くの大人たちの目で子供を育てようという提案をしました。でも、知事は『できるだけわかりやすいことをしたい。親学はよそでやって下さい』という意見でした（前出・参加者）

橋下氏の提案はこうだ。「もっと目に見えるわかりやすい校庭の芝生化とか、

数字でわかる学力向上をやる」

すかさず「それはおかしい」という非難があがった。

神谷氏が振り返る。

「教育に携わる者が目立つことしかやりたがらないというのは、根本的におかしい」

小沢氏との面会の予行演習を

大阪府の担当者から芝生化は予算がないと言われ、

学校側からは「メンテナン스가大変」と受け入れられなかったが、神谷氏たちメンバーが学校をまわって校長を説得。芝生化を少しずつ実現させ、「改革」の手応えを感じていった。

一方、その後の会合で橋下知事は、「昼食をとる時間があったくない。昼食抜きでやりましょう」と、熱意を見せていた。だが、橋下知事の手腕は、やはり有権者の目に見えるわかりやすさに重きが置かれていたのは事実である。その一つが、教員の給与カットだ。

現在、大阪の教員給与は全国でも最低レベルである。そのことで神谷氏は橋

い、会を辞めると言う人も出ました。しかし、大事な初回の会合でいきなり決裂させられないから、進行役の僕が『まあ、まあ』と取りなして、まずは知事が言う芝生化を検討しましょうよ、と収めました」

下知事に抗議したと言う。「財政が苦しいのはわかります。しかし、逆に給与を上げるべき。大阪にいい人材が集まらなくなるからです。元教員として言わせてもらおうと、学校は何人かの熱意のある先生たちが引張っている。そういう教師を支援する仕組みが必要なんです。ただでさえ足を引

張るダメ教師と横並びなのに、そういう教師と一緒に給料を下げられたら、人は集まりません」

実際、大阪の教育現場を歩くと、教員不足は深刻である。ある公立高の教師が苦笑まじりにこう話す。

「地方では教員の採用が何十倍と狭き門なのに、大阪は二倍強ですよ。レベルが

低くなるのは当然。昨年、小学校の先生に五十九歳の人合格した。新人研修を受けて、そのまま三月には定年退職。ただの思い出づくりか（笑）。こんなありえない採用があるほど、大阪の教育は壊れている」

喫緊に目指すべきは教育的成果なのに、橋下氏は目先の政治的成果を求めている印象が否めない。そして、この教育維新は、違う展開を見せ始める。

○九年十二月三日、教育維新の忘年会のこと。橋下知事はこう提案した。

「ここには市長になれる人材が揃っている。皆さん、市長になって下さい。みんなで勉強する市長塾をつくりましょう」

半年前に会のメンバーが松原市長選挙で当選したこともあり、橋下知事には何かが閃いたのだろう。知事はこんな話もしている。

「今度、小沢一郎先生に会うんです。これから小沢先生に質問することを私が述べますから、意見を言ってお下さい。その中に小沢先生が言うような意見があるか

もしれません」

民主党・小沢幹事長（当時）との面会の予行演習をしようというわけだ。何の会か、段々わからなくなってきたが、十二月二十九日の夜には、関西大学大学院を借りて、さっそく市長塾の勉強会が行われた。

「知事から吹田市の予算書を持ってくるように言われ、全員が吹田市長になったつもりで予算の勉強をしました。この頃、知事はよく『府議はバジジ目当てのバカばかりだ。あんな大阪府は解体しなくちゃいけない。ここにいる皆さんの方が、よほど大阪のことを考えている』と絶賛していました」（前出・参加者）

で、一体、教育維新の話はどこにいったのか――。

「その頃、会のメンバーが食育を提案したんです。すぐに知事は『それ、やりましょう！』と乗り出して、『皆さん、年末年始は地元でチラシを作りますよね。そのチラシに僕が食育の原稿を書きます。そうしたら（食育の提唱に）経費がかからないじゃないですか』



小学校を視察し、給食を食べる橋下氏

と、いいアイデアを提案されました。ところが、全然原稿が来ない。僕らはチラシの原案をつくったのですが、中止になりました」(同前)

一体、橋下知事は何を思ったのか。年が明けた二〇一〇年一月、神谷氏は知事室に呼ばれた。そこで橋下氏から重大な決意を聞かされた。

「維新の会をつくる。人を集めよう。次の選挙で(議員を)入れ替えたい」
「誰とやるんですか?」
と、神谷氏が尋ねると、知事は府議の松井一郎氏、吹田市議の井上哲也氏の名前をあげた。神谷氏は困惑した。

「会をつくって大阪を一気に変えるのは賛成です。でも、僕らの独自性や理念とは相容れないものがあります。やるのなら新しい

人を集めましょう。理念で集めないと、古い体質の人たちの寄せ集めになります」

今度は知事が困惑した。世間では橋下氏に既存の古い体質と闘うイメージが

松井氏が「維新を名乗るな」

知事の打診を受けた神谷氏は、翌月、断りを申し入れた。神谷氏が話す。

「〇九年の政権交代直前から、僕は全国をまわって若い市議たちと連携を組んで、地方から政治を変える『龍馬プロジェクト』という取り組みを始めていました。民主党が政権をとっても、いずれダメになり、政界再編となっても、結局、中身が変わらない看板の掛け替えが行われるだけだと思っただけです。それで地方の無所属議員たちと勉強をして、坂本龍馬にならって『船中八策』をつくろうと呼びかけていました。橋下さんにも声をかけました。吹田を変えろには大阪全体でやると展望が見えてきた。だから、知事には発信力が

あるが、実際は違う。府知事になる時は自民党、民主党が政権をとる頃には小沢氏ら民主党、そして今度は自民党府議だった松井氏らと組んで、その場その場を勝ち抜いていく手法である。

あるので、全国で国民運動をやりたいと提案したのです」

ところが、今となっては信じられないが、橋下氏の返事は彼のイメージとかけ離れたものだった。

「神谷さんは政治を全然わかっていない。一知事が国の形に口を出すのはおこがましい。ましてや小沢さんとの関係もあるし、民主党とうまくやることの方が大事じゃないか。現場もわかっているのに、夢みたいなことを言うな」

のちに国政選挙に三百人を擁立する!と吠える人とは別人のようである。

「維新の会」参加を断った神谷氏に、松井一郎氏から電話があった。面識のない松井氏が、いきなり高圧的

にこう告げたという。

「大阪維新の会をつくるから、そっちの粉らわしい名前を変えろ。大阪維新の会の教育部という形にしろ」
「ちょっと待って下さい。なんで会ったこともない人に命令されなきゃいけないんですか。教育維新の会をつくったのは僕らですよ。順番が違うでしょ」

すると、松井氏はこう言ったという。
「だったら、代表から橋下を外せ。もう橋下とは連絡を取らせない」
神谷氏が振り返る。

「つい僕もカチンときたのですが、知事の足を引く張りたくない。知事は府議への配慮もしなければならぬし、大変だなと思ひ、教育維新の名前を変えることにしました。ただ、市長塾のこともあるし、知事に会った時に新しい維新の会は何をするんですか?と聞いたんです。そこで僕は再びカチンときてしまった」

橋下氏は「ONE大阪をやる。二重行政の解消だ」と言った。のちの「都構想」である。神谷氏が詳細を聞

くと、「ディテールとか細かいことは考えていない。今の政治はわかりやすいワンフレーズだ。有権者にわかりやすいワンフレーズで選挙に勝って、力を握ることが大事だよ」と答えたのだ。神谷氏は、「一緒にやっていくのは難しいと感じたという。『思いや理念が先にあって、伝える時にワンフレーズならわかりますが、手法がおかしいと思いました』

さて、ここからが「橋下劇場」である。昨年、吹田市長選挙に教育維新の会のメンバーが出馬した。市長塾で橋下氏と誓った約束である。だが、そこに大阪維新の会の井上哲也氏も出馬の名乗りをあげたのだ。

「若い人には実績がない」と、選挙戦で神谷氏らは攻撃に晒された。

市長塾のメンバーが苦笑しながらこんな話をする。

「橋下知事が井上氏の応援にきました。その時、神谷君の批判ととれる演説をしたのです。吹田市は税金の無駄遣いをしている。若い市議が全国を回って視察ばかりをしている、と。でも、

教育維新の会で「杉並区の中学校に視察に行こう」などと提案していたのは橋下さんですよ(笑)」

橋下人気で井上氏が圧勝。「選挙は選挙。仕方がありません」と、さばさばした神谷氏だったが、さすがに仰天したのは、TV番組「たかじんのそこまで言つて委員会」を見た時だ。

「俳優の津川雅彦さんが『日本人の美徳を大事にしよう』と徳育などについて話されたのです。すると、出演していた橋下さんが、『僕もやりたいと思つていたのに、官僚がやらせないんですよ』と言ひ出した(笑)。徳育はわかりにくいからやりたくないと言つたのは、橋下さんですよ!」

とは言うものの、神谷氏は「橋下さんのことは批判したくなかつた」と言う。「停滞した政治に、橋下さんの突破力は必要です。ただ、橋下さんには理念が感じられず、そんな彼に大阪の政治家がなびく現状に強い危機を感じたんです。橋下さんは今でも弁護士。その時その時のクライアント

のために法廷で勝たなければならぬ。以前の考えと矛盾していても、勝ち続けることが評価となる。政治という法廷で、国民という陪審員にどううまくプレゼ

サッチャー改革失敗の二の舞い

すでに橋下氏に関わつた人たちは気づき始めていた。性急な教育改革は、「制度を変えた」という実績をつくり、次の選挙に利用するためだ、と。

橋下氏は大阪府の学力テストの成績が、全国で四十五位だったことに激怒し、「クソ教育委員会!」と罵つた。橋下氏対教育委員会という図式が、観客である大衆には拍手喝采となった。だが、ある教師が話す。

「大学入試センター試験で大阪は全国的にも高い平均点を出しています。ところが、学力の低い層も非常に多い。大阪は学力の二極分化が進んでいるんです。これは低所得者層の多さが背景にあります」

もともと荒れた地域が多いの、不況で地方から仕

ンするかが橋下さんには大事なのです。橋下さんがあちこちで野を焼くなら、僕らの役割は焼き畑に種を植えて歩くことだと気づきました」

事を求めて流れてくる家庭が増えている。子供にかまう余裕がなく、放り出された子供たちが基礎学力を養えないでいる。改革するなら、有名大学合格者を増やすという目立つ改革ではなく、教育の底上げという地道な改革の方が必要だといふのだ。

維新の会は、三年連続で定員割れし、改善の見込みがない府立高校を統廃合の対象にしたり、教職員の約5%に最低評価をつけて二年連続最低なら、免職対象とする意向だ。

冒頭で紹介した小河勝氏は、競争をベースにした教育には反対する。

「イギリスのサッチャー改革を模倣して、市場原理を導入したのが、アメリカのブッシュ大統領による教育

改革です。すでにどちらも破綻して歪みが出た制度を、なぜ今やるのか。

たとえば、一人の不登校の子供を立ち直らせるには、一人の教師では限界がある。前年の担任など何人もの大人の目が必要です。

僕は荒れた中学を担当してきましたが、一人の教師を十人の生徒が擱んで、目潰しをしたり、ナイフで突こうとしてくる。そんな時に、他の先生たちが『何してんの!』と、みんなで食い止めてきた。それが、必ず5%の教師を最低と評価するシステムが導入されると、みんな面倒を避けようとしてますよ。

一番深刻なのは学級編成です。問題のある子、または親に問題がある生徒は、ベテラン教師のクラスに入れて、新人教師の負担を減らしてきた。しかし、誰も面倒向き合おうとしなくなる。政治家による上意下達の管理強化ではなく、教師の主体性をもとにしたチームワーク体制や相互協力関係を構築することが本当は重要なのです」

福井県では二年前まで教員の評価はなかった。福井が学力テストで全国トップだったのは、それと関係があるはずだと小河氏は見る。

一方、大阪に目を向けると、ある小学校では、子供たちが教室にバリケードを築き、担任は精神を病んで休職。校長は転勤をひたすら願ひ、管理職を目指す教師たちは、評価を気にするヒラメ教師になつてい

る現実がある。改革すべきは、すそ野での基礎学習のほず荒れる子供たちと向かい合つてきた小河氏は、静かにこう語るのだ。

「競争を強化すると、たくさんの子供を抱えた子供は無気力になる。そうすると、子供たちは暴力で憂さを晴らす。窓ガラスを割り、イジメをして恐喝をする。本当の教育の活力とは、子供たちが勉強をわかる、できる、そして自信を持ち、喜びをもって感動する。この内面のドラマが教育的活力の源泉です。これは現場の経験者にしかわからないことなのです」